

2020年度 東三河防災カレッジ

オンライン講義の実施に向けたアンケート

－明海地区版－

新型コロナウイルスCOVID-19の感染拡大防止に資するオンライン講義の実施に向けた企業/自治体等のインターネット環境の状況に関する調査

実施期間 2020年6月23日～6月26日

豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター

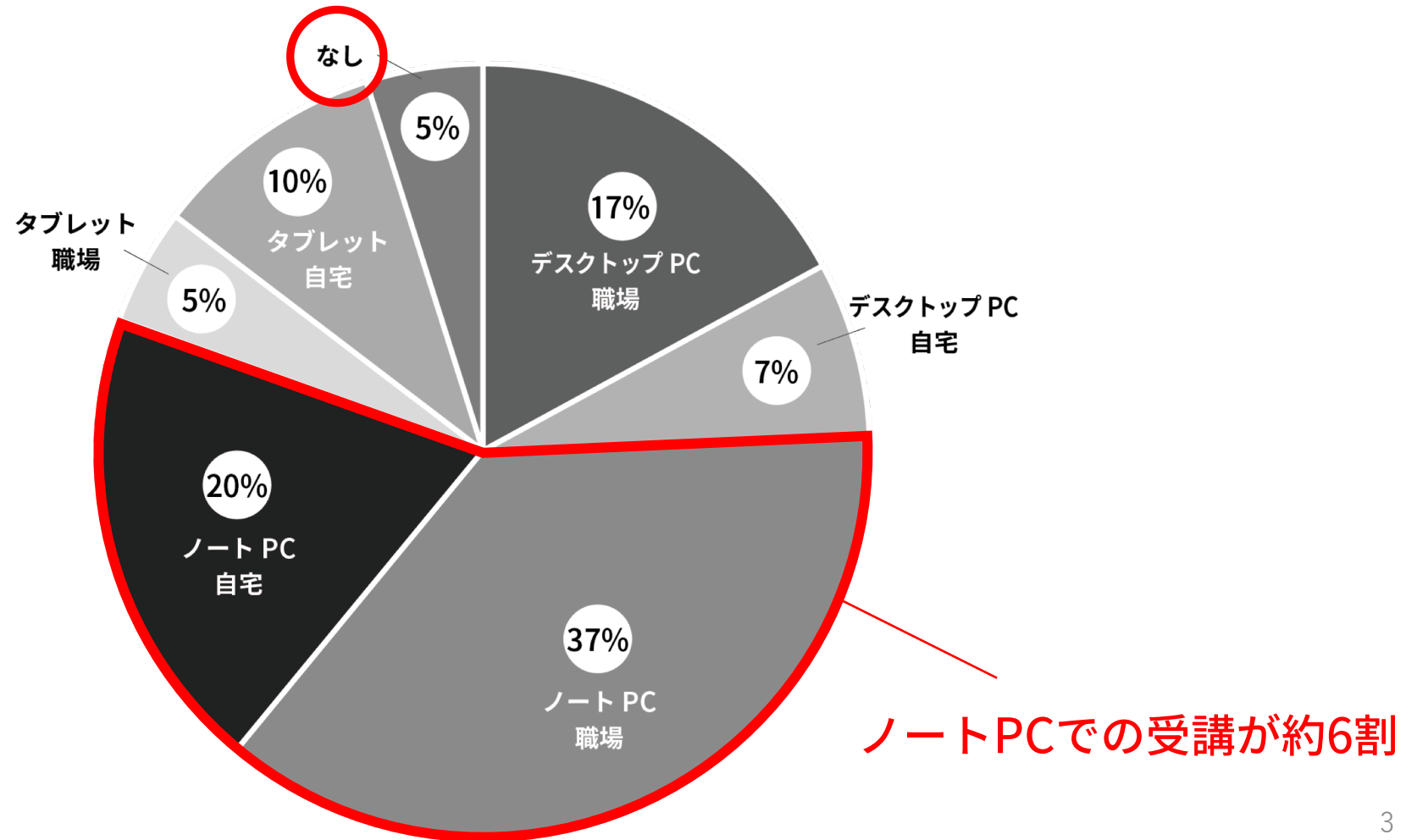
協力：株式会社総合開発機構

アンケートの実施概要

アンケート対象	明海産業基地運営自治会 81 社
アンケート配布方法 回収方法 アンケート実施期間	総合開発機構を通じて配布 メール添付またはFaxにて回収 2020/6/23~6/26
回収数	20 枚
回収率	24.7 %

Q1 オンライン講義を受講できるデバイス

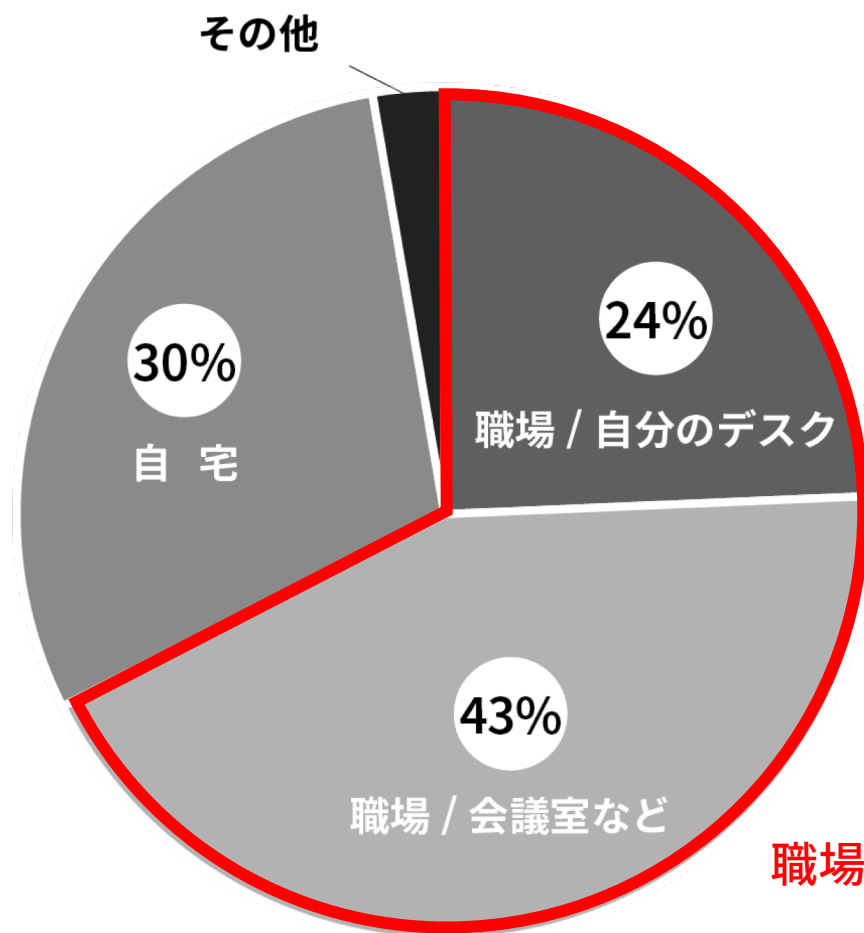
多くの方が自宅か職場にデバイスをもっているが、中には自由に使えるデバイスがない人もいる



オンライン講義を受講できるデバイス (N=20)

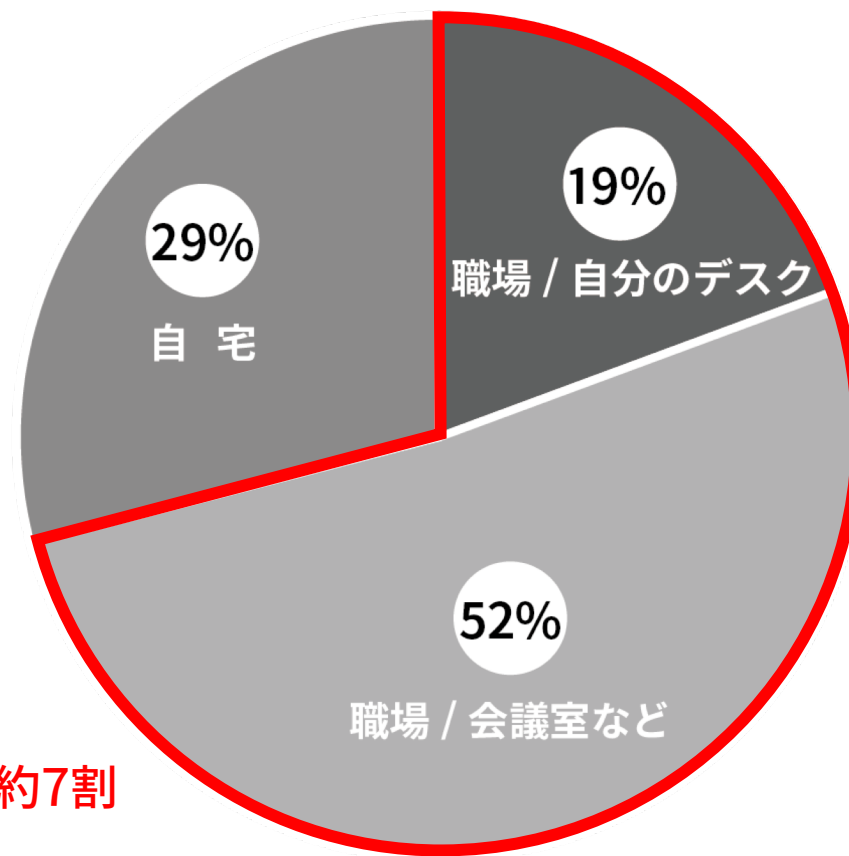
Q2 オンライン講義を視聴/通話できる場所

オンライン講義を受講できる環境は、多くの方は職場にある
(ただし、音声通話のための個室確保が困難な人もいる)



オンライン講義を受講できる場所 (N=20)

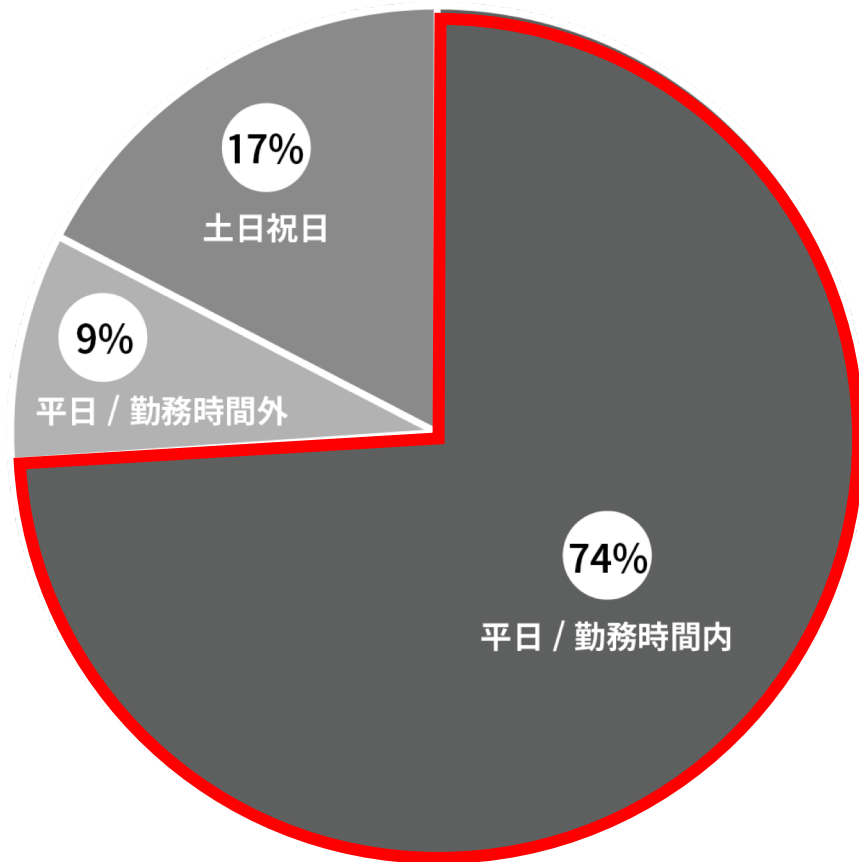
職場での受講が約7割



音声通話に支障のない場所 (N=20)

Q3 オンライン講義に望ましい時間帯

平日の日中（職務中）が望ましいとの回答が全体の7割以上を占める



平日勤務時間内 (74%)

- ・8～17時 (2人)
- ・9～15時 (2人)
- ・9～16時 (1人)
- ・**9～17時 (5人)**
- ・9～18時 (1人)
- ・10～14時 (1人)
- ・10～16時 (1人)
- ・13～17時 (3人)
- ・いつでも可能 (1人)

平日勤務時間外 (9%)

- ・19時以降 (2人)

土日祝日 (17%)

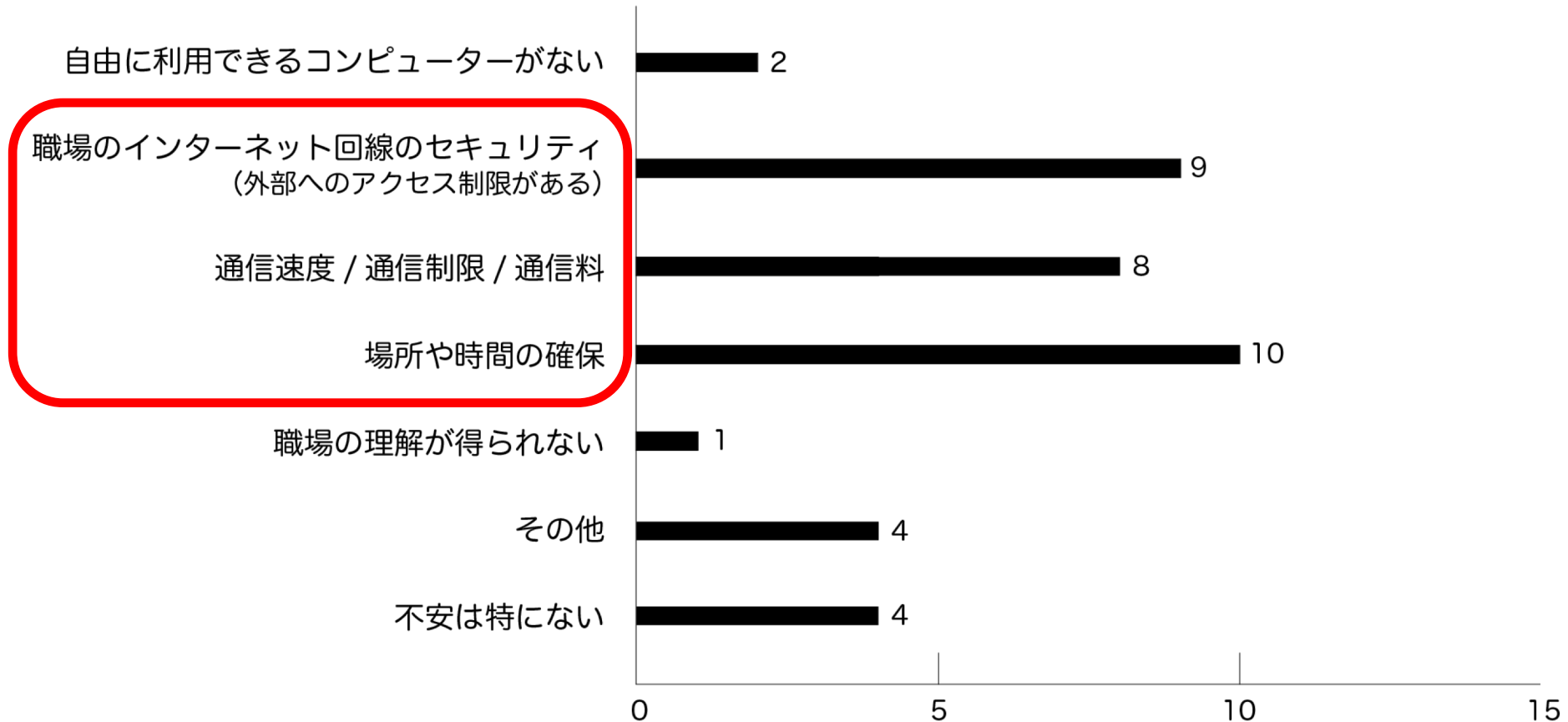
- ・午前中 (1人)
- ・10～16時 (1人)
- ・10～17時 (1人)
- ・10～21時 (1人)

オンライン講義に望ましい時間帯 (N=20)

Q4 オンライン講義の不安な点

オンライン環境の整備状況の確認が必要（セキュリティ、通信制限など）

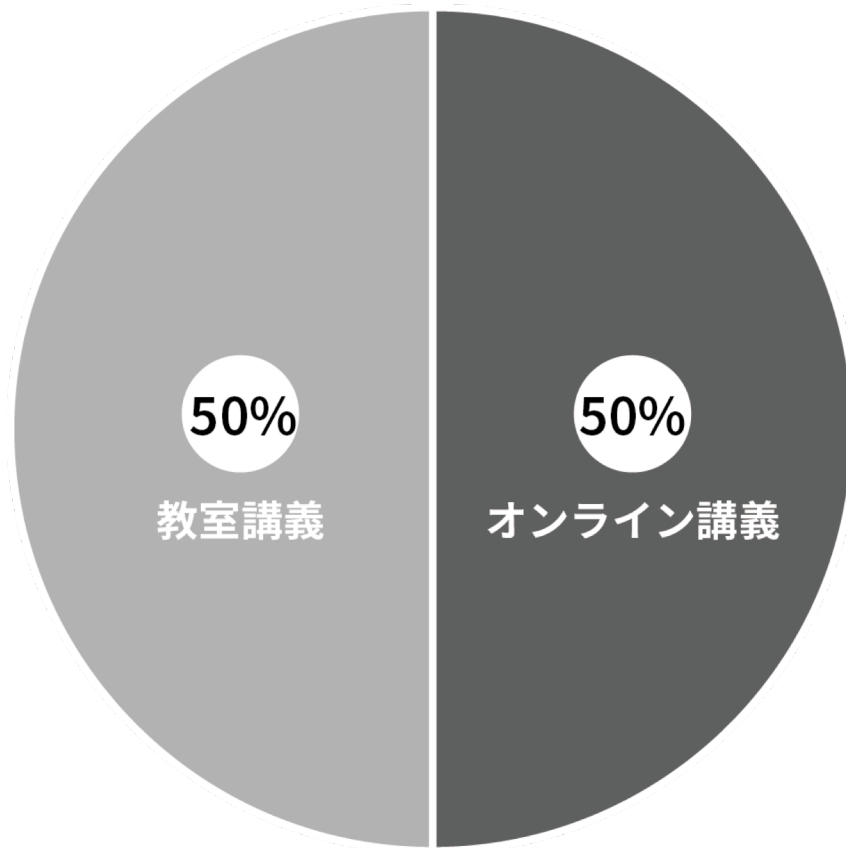
職務中の時間や場所の確保を不安視する声が多数



オンライン講義の不安な点 (N=20/複数回答)

Q5 望ましい講義形式

オンライン講義の利点は「時間の節約になる」こと
教室講義の利点は「講義に集中できる」こと



望ましい講義形式 (N=20)

[オンライン講義]が良い理由

移動時間が削減できる

- ・移動時間がいない(7人)
- ・すぐに業務に戻れる

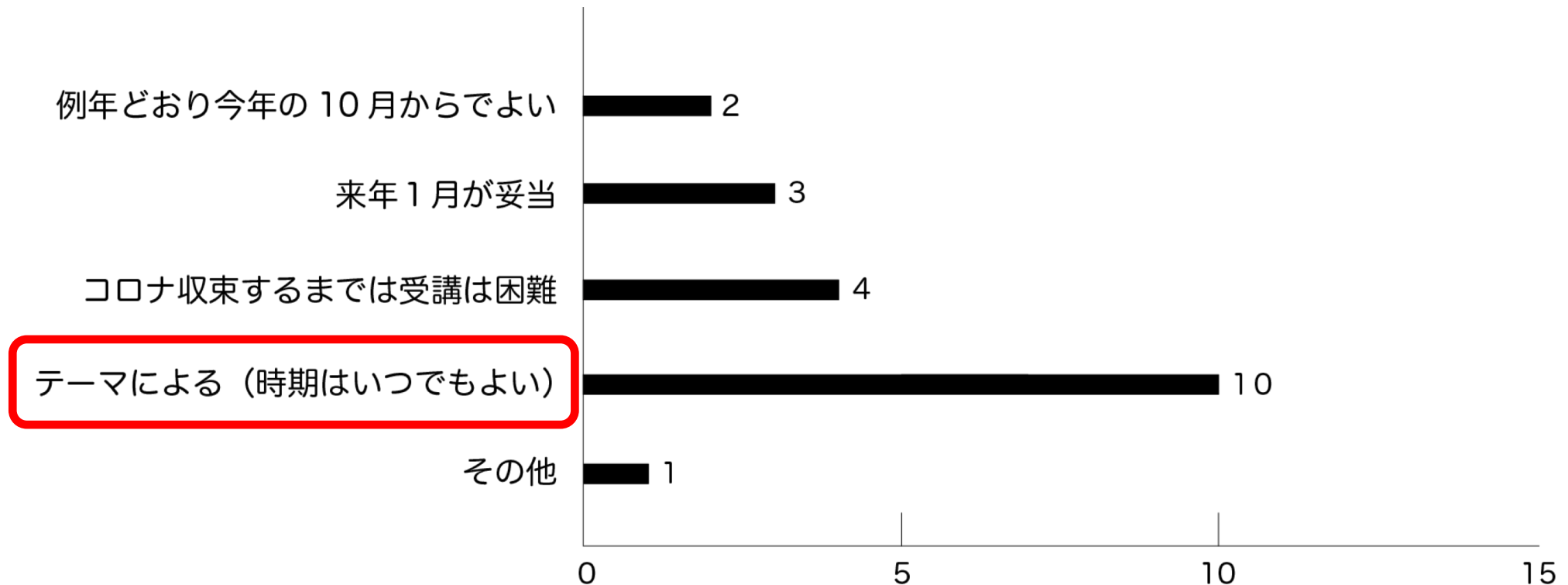
[教室講義]が良い理由

講義に集中できる(臨場感/邪魔が入らない)

- ・講師や他の参加者の動向も臨機応変な対応ができる
- ・職場以外の方が講義に集中しやすい
- ・職場に個室がないため
- ・その場の空気を感じられる。話をするタイミングなど
- ・TV会議を行っている為、重なるとオンライン講義が聞けない
- ・途中で電話などの邪魔が入らないから

Q6 望ましい開講時期

オンライン講義にするなら時期は関係なく「テーマによる」との回答が多い



オンライン講義を受講するにあたって望ましい時期 (N=20/複数回答)

伝染病・感染症対策／防疫全般、避難生活での
防疫対策／地震や水害時の防災減災／発災後の
サバイバル手法／社内防災訓練のコツ（演習）
同じ地域内での企業間の支援と受援

Q8 オンライン講義の実施に対する意見要望

オンラインを利用したことがないため良くわからない

オンラインの経験が無いので、どの程度身につくのか不安

社内ではテレビ会議を利用するが、社外とのやり取りは少なくどこまで（対応）出来るか分からない
スマートフォンで受信することは可能か

オンライン受講への設備環境の対応次第

zoomは情報漏えいの注意が必要とネットニュースに出ていた
企業側（講座を受ける側）はどのような準備が必要か

オンライン講義とDVDなどのメディアを使用したものの違いを明確にしてほしい
オンライン講義を一方向的に聞くのであればDVDメディアで十分と思われる

本来業務ではないものに会社施設や電力を使えない、自宅ではネット環境が不安